

和歌を味わおう

○単元の目標

- ・二つの詞書を読み、和歌が詠まれた背景や魅力を理解できる。
- ・宗祇注と真淵注を読み、「ちはやぶる」の解釈の違いを理解できる。

○学習後の感想、疑問点の解消、新しく知ったことやできるようになったことを箇条書きで三つ以上書こう。( ) 月 ( ) 日 ( )

○目標達成度

- ・二つの詞書を読み、和歌が詠まれた背景や魅力を理解できた。  
できた( 3 ・ 2 ・ 1 )できなかった
- ・宗祇注と真淵注を読み、「ちはやぶる」の解釈の違いを理解できた。  
できた( 3 ・ 2 ・ 1 )できなかった

本時の目標

「ちはやぶる」の和歌が詠まれた背景を二つ理解できる。

「ちはやぶる」の和歌をイメージした楽曲

ちはやぶる

作詞・作曲：○○○

一番

屏風に描いた竜田川

秋風に散るひとひらが

あなたに触れて揺れたなら

言葉も届かぬ遠い日を

ちはやぶる神々よ

からくれなゐに運命さえ変えて

竜田の水面に映した恋を

あの雨の日に伝えていたら…

二番

川面に浮かんだ紅葉をたどり

あなたのもとにかけつける

この美しさ伝えたくても

心あふれて言い尽くせない

ちはやぶる神々よ

からくれなゐに運命さえ変えて

竜田の水面に映した景色を

みそひともし  
三十一文字に閉じ込められたら…

二条の後の、春宮の御息所と申しける時、御屏風に竜田川に紅葉流れたる形をかけりけるを題にてよめる

業平の朝臣

ちはやぶる神代も聞かず竜田川からくれなゐに水くくるとは

『古今和歌集』卷五・秋下

### 紀貫之

一『古今和歌集』の選者で、仮名序(前書き)を書いたのはだれですか。

二「かけりける」を品詞分解して、説明してください。

かけ(力行四段活用動詞・已然形)／り(完了の助動詞・連用形)  
／ける(過去の助動詞・連体形)

三「御屏風」の絵柄はどのようなものだったのでしょうか。

竜田川にっぱいの紅葉が流れている様子が描かれている。

四「ちはやぶる」の歌に使われている修辞法は何ですか。

### 枕詞・倒置法

五★「からくれないゐに水くくるとは」を現代語訳してください。

からくれない色に水をくくり染めするとは

昔男、親王<sup>みこ</sup>たちの逍遙<sup>しょうよう</sup>したまふ所にまうでて、竜田川のほとりにて、

ちはやぶる神代も聞かず竜田川からくれないゐに水くくるとは

『伊勢物語』106段

六『伊勢物語』では、どのような流れで和歌が詠まれていますか。

親王たちが竜田川のほとりを散歩していたときに、昔男が現れて詠んだ。

七 楽曲において、一番と二番はそれぞれ『古今和歌集』の詞書と『伊勢物語』の詞書のどちらをイメージしていますか。

一番は『古今和歌集』で、二番は『伊勢物語』。

八 歌詞の中で、既習の内容を踏まえている箇所があるが、それはどこか。

「あの雨の日に伝えていたら」は『伊勢物語』第六段（芥川）を踏まえている。  
「心あふれて言い尽くせない」は『古今和歌集』仮名序を踏まえている。

和歌を味わおう 三

本時の目標

「水くくる」に注目して、和歌の解釈の違いを理解できる。

心は、秋の暮れ、または神無月など、竜田川の流れもなきまで散り敷きたる木の葉に、水はただ紅をくぐるやうなる興を、神代にもかかることは聞かずといへり。

一「心」とは、どういう意味ですか。

歌意。意味。

二「神無月」とは何月のことですか。

十月

三「興」とは、どういう意味ですか。

興趣。おもむき。おもしろみ。

四★「かかること」とはどのような情景ですか。

竜田川の流れもなくなるほど紅葉が散り敷いていて、水が紅の下を潜っていくように見える情景。

紅葉のむらむら流るる方にて、白波もひまひま立ちまじりつつ見ゆらんを、  
紅の纈纈と見なして、いとめづらしければ、行く水を纈纈にすることよ、神代よ  
りかかることはいまだ聞かざりけりといふなり。これは、ある家の古き説に、この  
「くくる」は「泳る」にはあらで「絞る」なりとあるによれり。およそ纈纈は令式  
などにも見えて、絹を糸もてところどころくくりて、紅・紫・緑などに染むるな  
り。今いふ絞り染めに同じ。

一「紅葉のむらむら流るる」とは、どういうことですか。

紅葉が川のあちらこちらに集まって流れていくということ。

二「纈纈」とは何のことですか。本文から四字で抜き出してください。

絞り染め

三★「かかること」とはどのような情景ですか。

紅葉が集まって流れるところで、白波もすきまごことに立ち混じりながら  
見えている様子。

四★次にあげるのは、葛飾北斎が「ちはやぶる」の和歌を浮世絵にしたものである。この絵は、「水くくる説」と「水くぐる説」のどちらを採用しているか、話し合ってみましょう。

『謎解き浮世絵叢書 葛飾北斎 百人一首姥がゑとき』より  
葛飾北斎が「ちはやぶる」の和歌を浮世絵にしたものを掲載

和歌を味わおう 四

本時の目標

「ちはやぶる」の和歌と英訳を比較して、和歌特有の表現を理解できる。

「ちはやぶる」の歌の英訳を読んで、和歌を英訳する際にどのような工夫がなされているのか考えてみましょう。（注をよく参照すること）

Such beauty unheard of  
even in the age of the raging gods —  
the Tatsuta River  
tie-dyeing its waters  
in autumnal colors.

一 「Such beauty」とありますが、和歌には「このような美しさ」に当たる表現はありません。なぜこの表現が組み込まれたのですか。（英語文法的な理由）

「unheard of」の目的語が必要だから。

二 「raging」とありますが、和歌のどこに対応する表現ですか。

枕詞「ちはやぶる」に対応する表現。

三 英訳は「水くくる説」と「水くぐる説」のどちらを採用していますか。

## 水くぐる説

四 この英訳を作る際に工夫したと思うことを答えてください。

五行で書いている。「waters」と表現することで、くくり染めを表現しようとしている。「からくれなゐ」を「autumnal colors(秋の色)」と表現している。

五 「水くぐる」説で、英訳を書いてみましょう。

Such beauty unheard of  
even in the age of the raging gods —  
the Tatsuta River  
its water ( flows )  
under / beneath the autumnal leaves.

ヒント

①は動詞。②は前置詞。

六 ★英訳と和歌を比較して、改めて和歌にはどのような特徴がありますか。

「ちはやぶる」の和歌以外で考えてもかまいません。

少ない言葉で表現している。和歌独自の表現(技法)がある。

和歌を味わう 一

○単元の目標

- ・二つの詞書を読み、和歌が詠まれた背景や魅力を理解できる。
- ・宗祇注と真淵注を読み、「ちはやぶる」の解釈の違いを理解できる。

○学習後の感想、疑問点の解消、新しく知ったことやできるようになったことを箇条書きで三つ以上書こう。( 月 日 )

○目標達成度

- ・二つの詞書を読み、和歌が詠まれた背景や魅力を理解できた。  
できた( 3 ・ 2 ・ 1 )できなかった
- ・宗祇注と真淵注を読み、「ちはやぶる」の解釈の違いを理解できた。  
できた( 3 ・ 2 ・ 1 )できなかった

和歌を味わう 二

本時の目標

「ちはやぶる」の和歌が詠まれた背景を二つ理解できる。

「ちはやぶる」の和歌をイメージした楽曲

一番

屏風に描いた竜田川

秋風に散るひとひらが

あなたに触れて揺れたなら

言葉も届かぬ遠い日を

ちはやぶる神々よ

からくれなゐに運命さえ変えて

竜田の水面に映した恋を

あの雨の日に伝えていたら…

二番

川面に浮かんだ紅葉をたどり

あなたのもとにかけつける

この美しさ伝えたくても

心あふれて言い尽くせない

ちはやぶる神々よ

からくれなゐに運命さえ変えて

竜田の水面に映した景色を

みそひともし  
三十一文字に閉じ込められたら…

ちはやぶる

作詞・作曲：○○○

二条の後の、春宮の御息所と申しける時、御屏風に竜田川に紅葉流れたる形をかけりけるを題にてよめる

業平の朝臣

ちはやぶる神代も聞かず竜田川からくれなゐに水くくるとは

『古今和歌集』卷五・秋下

一 『古今和歌集』の選者で、仮名序(前書き)を書いたのはだれですか。

二 「かけりける」を品詞分解して、説明してください。

三 「御屏風」の絵柄はどのようなものだったのでしょうか。

四 「ちはやぶる」の歌に使われている修辞法は何ですか。

五★「からくれなゐに水くくるとは」を現代語訳してください。

昔男、親王<sup>みこ</sup>たちの逍遙<sup>しょうよう</sup>したまふ所にまうでて、竜田川のほとりにて、

ちはやぶる神代も聞かず竜田川からくれなゐに水くくるとは

『伊勢物語』106段

六『伊勢物語』では、どのような流れで和歌が詠まれていますか。

七 楽曲において、一番と二番はそれぞれ『古今和歌集』の詞書と『伊勢物語』の詞書のどちらをイメージしていますか。

八 歌詞の中で、既習の内容を踏まえている箇所があるが、それはどこか。

和歌を味わおう 三

本時の目標

「水くくる」に注目して、和歌の解釈の違いを理解できる。

心は、秋の暮れ、または神無月など、竜田川の流れもなきまで散り敷きたる木の葉に、水はただ紅をくぐるやうなる興を、神代にもかかることは聞かずといへり。

一 「心」とは、どういう意味ですか。

二 「神無月」とは何月のことですか。

三 「興」とは、どういう意味ですか。

四 ★ 「かかること」とはどのような情景ですか。

紅葉のむらむら流るる方にて、白波もひまひま立ちまじりつつ見ゆらんを、  
紅の纈纈と見なして、いとめづらしければ、行く水を纈纈にすることよ、神代よ  
りかかることはいまだ聞かざりけりといふなり。これは、ある家の古き説に、この  
「くくる」は「泳る」にはあらで「絞る」なりとあるによれり。およそ纈纈は令式  
などにも見えて、絹を糸もてところどころくくりて、紅・紫・緑などに染むるな  
り。今いふ絞り染めに同じ。

一「紅葉のむらむら流るる」とは、どういうことですか。

二「纈纈」とは何のことですか。本文から四字で抜き出してください。

三★「かかること」とはどのような情景ですか。

四★次にあげるのは、葛飾北斎が「ちはやぶる」の和歌を浮世絵にしたものである。この絵は、「水くくる説」と「水くぐる説」のどちらを採用しているか、話し合ってみましょう。

『謎解き浮世絵叢書 葛飾北斎 百人一首姥がゑとき』より  
葛飾北斎が「ちはやぶる」の和歌を浮世絵にしたものを掲載

和歌を味わおう 四

本時の目標

「ちはやぶる」の和歌と英訳を比較して、和歌特有の表現を理解できる。

「ちはやぶる」の歌の英訳を読んで、和歌を英訳する際にどのような工夫がなされているのか考えてみましょう。（注をよく参照すること）

Such beauty unheard of  
even in the age of the raging gods —  
the Tatsuta River  
tie-dyeing its waters  
in autumnal colors.

一 「Such beauty」とありますが、和歌には「このような美しさ」に当たる表現はありません。なぜこの表現が組み込まれたのですか。（英語文法的な理由）

二 「raging」とありますが、和歌のどこに対応する表現ですか。

三 英訳は「水くくる説」と「水くぐる説」のどちらを採用していますか。

四 この英訳を作る際に工夫したと思うことを答えてください。

五 「水くぐる」説で、英訳を書いてみましょう。

Such beauty unheard of  
even in the age of the raging gods —  
the Tatsuta River  
its water (① )  
(② ) the autumnal leaves.

ヒント

①は動詞。②は前置詞。

六 ★英訳と和歌を比較して、改めて和歌にはどのような特徴がありますか。  
「ちはやぶる」の和歌以外で考えてもかまいません。